

# 市議会の動き

平成19年度一般会計  
補正予算などを可決  
～平成19年第4回定例会

12月12日に閉会した第4回定例会の中から、  
12月1日以降の審議内容についてお知らせします。

編集●札幌市議会事務局 ☎211-3164 FAX218-5143 市議会ホームページアドレス●www.city.sapporo.jp/gikai

## 代表質問から

今回の定例会では、十二月四・五日の二日間の日程で代表質問を行いました。その中から主なものをお知らせします。

### スリムシティさつぽろ計画

佐藤 右司(民主党・市民連合)

**問** ごみの不適正排出の割合は、共同住宅世帯数が多い地域の方が高いとの調査結果がある。このため、共同住宅については、市として、すぐにも、ごみ排出マナーの改善策を実施すべきと考えるが、「スリムシティさつぽろ計画(素案)」に掲げている共同住宅における、ごみステーションの管理制度については、どのように改善しようと考えているのか。また、共同住宅のオーナーや管理責任者に対しては、居住者のごみ排出マナーに関する管理責任の強化を図るべきと考えるが、これをどのように担保する考えであるのか。

をされている。そのため、共同住宅のごみ保管場所の設置や、ごみステーションの利用などを定めている現行規定の全面的な見直しを行う。また、新たに共同住宅の管理責任者に対して、ごみステーションの管理や入居者への分別ルールの指導などの義務付けを行う。さらには、敷地内にごみステーションの設置を義務付けている新築共同住宅の対象範囲を拡大することなどを予定している。これらの改善方策を進めていくため、来年度の早い時期の規定整備に向け、鋭意作業に取り組んでいる。



### ワーク・ライフ・バランスの推進

宗形 雅俊(自民党)

**問** 仕事と生活の調和が図れる

るワーク・ライフ・バランス社会を構築していくことが重要である。企業経営層にワーク・ライフ・バランス施策への正しい理解を広めるために、行政としてどのような取り組みが必要と考えているのか。

**答** ワーク・ライフ・バランスを推進する意義と、社会全体の意識改革の必要性について、市長はどのように認識しているのか。また、市民の意識改革の推進について、市としてどのような取り組みが必要と考えているのか、伺いたい。

**問** 市内中小企業の先行事例を紹介し、企業経営者の取り組み意欲を高めるとともに、助成制度やアドバイザー派遣などの具体的な支援を講じていくことが必要であると考えている。

ワーク・ライフ・バランスの実現は、市民自治や地域まちづくり、生涯学習などの促進にも寄与するものであるため、一人一人がお互いのワーク・ライフ・バランスの実現を尊重するという、社会全体の意識改革が不可欠であると認識している。このような意識改革が進むためには、国や民間など各界各方面の活動と連携した、効果的な広報・啓発活動を実施していくことも

に、具体的な支援を行うなど、実効性の高い事業を展開することで、より多くの企業の取り組みにつなげていくことが必要であると考えている。



### 第二次新まちづくり計画

國安 政典(公明党)

**問** 平成十六年度から十八年度までを計画期間とする前回の新まちづくり計画の検証結果を見ると、施策や事業の効果は不十分であったとの評価も免れない。今後、第二次新まちづくり計画を推進していくに当たって、どのように施策や事業の評価や検証を行い、計画の進ちよく管理を行っていく考えなのか、伺いたい。

**答** 計画の進ちよく管理については、前計画に引き続き、毎年度、各事業の所管部局による事業の評価を行うとともに、政策目標ごとに組織横断的に設置したプロジェクトによる施策の評価を行っていく